

留萌市ふるさと納税クラウドファンディング地場産品創出支援補助事業
事業計画書

1. 提案者について

①提案者の概要
【提案者の事業概要を記載ください】 (記入例) 現在留萌市に本社兼製造・販売店舗を構え、ジェラートの製造販売を営む事業者である。販売の中心は店舗による対面販売のほか、市内外の催事出展により販売を行っているが、事業拡大のためE C販売への進出及び新たに全国発送が可能な新感覚ジェラートの商品開発を検討している。
②実績について
【今回の提案事業の実績をご記入下さい、新規の場合はこれまでの事業実績をご記入下さい】 (記入例) ジェラートを主力商品として販売し、直近では、2020年〇〇万円、21年〇〇万円、22年〇〇万円の売上げの実績がある。 〇受賞・表彰歴などあれば記載

2. 提案内容について

①事業の概要・全体図
【どのように事業を行うのか事業の全体像やスキーム図、および想定する返礼品をご記入下さい】 (記入例) 【返礼品名】 るもいブリオッシュ・コン・ジェラート 【提案の課題や背景】 事業拡大に必要となるE C販売環境の構築では、特にE Cサイトの立ち上げ後の商品の決済及び受発注のノウハウに課題を感じていたところであるが、ふるさと納税の返礼品登録によって経験値を得られること、またCFで集めた寄附額に対し、補助対象として4割、未来の売上げとして3割の計7割の支援が受けられる本事業は、大きなチャンスであると捉えている。 【提案内容】 留萌初のブリオッシュ・コン・ジェラートの製造販売 E C販売環境の構築 【実現性、発展性、継続性、収益性、事業効果 等】 ブリオッシュとは、水の代わりに牛乳を加え、バターと卵を多く使った口当たりの軽い発酵パンの一種で、このパン生地にジェラートを挟んだものがブリオッシュ・コン・ジェラートである。 イタリアのシチリア地方が発祥で、現代でも朝食や昼食の定番のメニューであり、ブリオッシ

ユの暖かさとジェラートの冷たさが調和した日本人には馴染みの薄い新感覚のお菓子です。

そこで、留萌の素材を使った新しい軽食の形を提案し、食の魅力発信を通じて、全国各地の方々へ留萌地域への関心を高めていきたい。

当社はジェラートの製造販売を行っている事業者であり、商品開発のノウハウや既存顧客へのアプローチなど実現性と収益性は見込みが立つ状況にある。

また、ふるさと納税返礼品の製造にあたり、地域の食材を用いることで新しい地域内企業との関係性を構築し、売り上げを高めることで関連産業への経済波及効果の創出や地域の名物と昇華させることで観光客等の誘客の一助として地域を盛り上げていきたい。

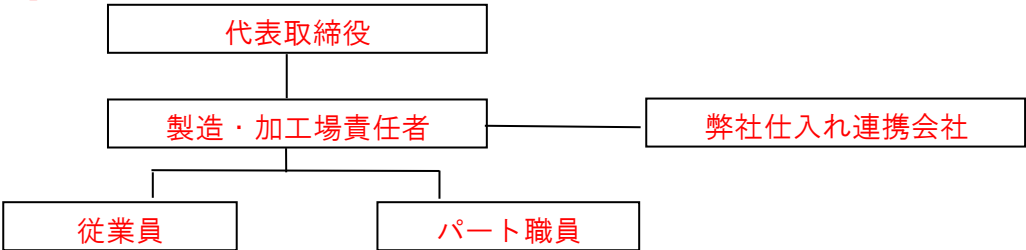
②事業スケジュール

実施項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設備発注			→						
商品試作				→	→	→			
仕入・原材料調達						→			
お礼品発送								→	→

補助額（寄附総額の10分の4）が補助対象経費の50%に達したら事業を開始（秋ごろ見込み）、設備発注・商品試作に着手、順次必要な準備を進め2月上旬から返礼品発送を開始する。

③事業の運営体制・連携期間などについて

【運営・組織体制】



【役割等】

役員	1名	責任者
部長	1名	製造・加工場管理責任者
従業員	1名	製造・加工補佐、店舗販売、ECサイト管理
パート職員	2名～	製造工程補助、店舗販売

④事業に関する法律、規制について

特になし

3. 収支計画について

初年度収支計画		
1年目	項目	金額（円）
収入	お礼品販売額見込み（4,000円×1,250個） ※平均単価	5,000,000
	小売販売（500円×3,620個） ※平均単価	1,810,000
	クラウドファンディング目標額	7,000,000
収入計		13,810,000
支出	準備経費	7,610,000
	返礼品開発経費	500,000
	雇用経費	2,100,000
	材料費	3,600,000
支出計		13,810,000
収支計		0
※詳細は別紙、「収支予算書」を作成しています。		
初年度は準備経費が支出の5割を超え収支はゼロとなる見込みであるが、2年度目以降は黒字が見込まれる。		

（注1）必要に応じて記入欄を増やして差し支えありません。